

庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

開催日時：平成27年12月18日（木）午後1：30～3：50

場 所：余目保健センター

出席委員：菅原源也、齊藤学、太田博之課長補佐（庄内総合支庁地域保健福祉課長代理）、佐藤昭一、佐藤トク、小林義廣、大隅香子、富樫良秋、本田一夫、富樫俊子、齋藤里美、工藤むつ子、渡會弘喜

出席職員：佐藤保健福祉課長、海藤保健福祉主幹、高山課長補佐兼健康推進係長、長南主査兼健康福祉係長、佐藤主査兼介護保険係長、鈴木主査兼子育て応援係長、加藤主査兼福祉係長、齋藤臨時給付金係長、保健師齊藤真奈美

内容は次の通り

1 開会

2 あいさつ 町長 健康寿命の延伸について、自分の健康は自分で守ることを念頭にわが町の弱点を確認しながら、今後の計画づくりを。

3 協議

(1) 健康しょうない21計画（第2次）中間評価と改訂版について

高山課長補佐より説明（資料1）

表紙の訂正：改訂版と追加。平成26年3月→平成27年3月に訂正。

【質疑等】

齊藤委員：P32 喫煙率 12.0%、P35「家族が喫煙している」55.6%とあるが、子どものいる家庭の方が喫煙率が高いということか。

長南主査：P32 は集団健診受診者のアンケート調査、P35 は3～4か月児健診時の問診票から調査したものなので、母数が違うため、子どものいる家庭が高いとの判断にはならない。

富樫委員：各疾病別の統計で、全体の総数はわかるが、年代別の統計はあるのか。

高山補佐：死因から年代別に調べれば出せるかもしれないが、県の統計には出ていない。

富樫委員：小さい町なので、年代別の統計が出せるのではないか。年代別で問題点が出てくるかもしれないし、どう取り組めばいいかも検討できると思う。

菅原委員：胃がんの死亡率が高い。酒田市ではABC検診を行っている。受診者は結果をみて検診しなければならないとの意識が出てくるし、関心高まっている。予算の関係はあるが、庄内町でも今後実施する予定はあるか。

高山補佐：検診のエビデンスがまだはっきりしていない・医師会でも意見が分かれている・除菌後のことなどもあり、まだ実施するまでには至っていない。今後酒田市の結果もみながら検討していきたい。

齊藤委員：年次別の死因で、平成24年に悪性新生物が急増した理由はあるか。

高山補佐：人数でみると、H24：106人、その前は70～80人程度。胃がんについてはH24：

22人、その前は17人程度。H24のみ急増した印象。特に急増した理由については深く探っていない。若い人で亡くなった方については検診を受けていなかった人もいる。

富樫委員長：もう少し原因を探ってみるよう。

富樫委員：現状と課題はよくわかったが、これからの取り組みが一番大事なので、取り組みについての提示はないのか。

高山補佐：次回3回目で提示する予定。

富樫委員長：アンケート結果から、30歳代の若いお母さんたちがんばってほしいこととして、食事・たばこ・飲酒の項目があげられるので、今後の取り組みについて検討してほしい。車の中での喫煙よく見かける。

高山補佐：親の行動が子どもにも影響するため、今後の取り組みでの検討課題とする。

大隅委員：脂肪の多いものの摂取について、コンビニ等の店頭でおいしそうなのが並んでいる。店への働きかけも必要ではないか。

また、COPDの問題で、在宅酸素等医療的な問題があると、施設を利用できないケースもみられるため、今後大変になってくるのではないか。若いうちからの禁煙は大事。

高山補佐：店への指導については具体的にできるかどうかはわからない。コンビニ弁当にかたよらない食習慣の指導はできると思う。

COPDについて、高齢者になると体調崩して禁煙するケースが多い。若いうちからの禁煙対策は重要と思う。

小林委員：データ分析はよくできている。しかしこれからの取り組みは結構難しい。どういう働きかけをしてほしいか、どういった団体から何をしてもらいたいのか、行政と地域や団体と一緒に取り組んでもらう方向で進めてほしい。町民を巻き込んで、声かけしていく。整理してやってほしいことを提案していくことが大切。企業での食事指導等は本人に話すより、実際食事担当の奥さんに指導していくことも大事なので、ターゲットを絞って取り組んでほしい。

本田委員：これからどう実践していくかが大事。受診率を上げることは重要なので、健診を受けなければならないという自覚を促す取り組みを。

菅原委員：健診の受診率向上も大事だが、健診後の二次健診・精健の受診をきちんと行っているかも重要。二次健診も100%を目指すべき。受けてそこで安心してはダメ。

富樫委員長：小学校のアンケート調査の結果では地域性もある。地域毎に取り組む項目も検討してみてはどうか。

(2) 庄内町高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画について

佐藤主査より説明（資料2）

表紙の訂正：庄内町高齢者福祉計画 → 庄内町高齢者保健福祉計画

【質疑等】

佐藤委員：特別養護老人ホーム待機者197人。どういう状況で待機しているのか。

佐藤主査：待機している在宅者については、なんらかの介護サービスを受けていると考える。

ニーズ調査から、高齢者の6割は在宅で過ごしたいと思っているが、ある調査によれば、家族は施設に入れたいという結果も出ており、高齢者本人と家族の思いは必ずしも一致していない。

本田委員：説明では何がどう変わるのかさっぱりわからない。新聞等でも情報をみたりしているが、自分の解釈では要支援の方を自治体が支援していく・介護保険料の負担は増えるがサービスは低下するということだと思っている。ますます予防が重要ということにもなる。健康な人は介護保険料が高いので払いたくない、介護サービスを使っている人は助かっているとの認識で、考え方の格差が大きい。法改正については、もっと住民にわかりやすい形で伝えるように。とにかくやさしく教えてほしい。

成年後見人についての現状は。町民は制度そのものを知らない人が多い。町民への周知も必要ではないか。

財政負担の問題もあるが、法改正により地域差が出てくるのではないか。

佐藤主査：予防給付（要支援1・2）の訪問介護（ヘルパー）や通所介護（デイサービス）が地域支援事業に移る。意見を踏まえて検討する。町民には3月に説明会を開催して周知する予定でいる。

成年後見人の申請は今年度1件、平成24・25年度はなし。

渡曾委員：介護保険料が高いのは、使うから高い。健康寿命を延ばす工夫としてスポーツクラブの活用も勧めていきたい。サロンで体を動かすこともよい。

菅原委員：P10：有病率で81.8%と出ているが、残り20%の人は何も病気がないということか。

佐藤主査：ニーズ調査での自己申告での数字。実際レセプト等で確認したわけでもないの、あくまでも本人が回答したもの。高血圧以外にも歯科診療なども含まれている。全国の数字はまだ発表されていない。

菅原委員：P32：認知症初期集中支援チームの配置とあるが、医師の確保はどうなるのか。専門医として精神科医師が必要になるが、庄内町には精神科医師はいない。

佐藤主査：近隣の酒田・鶴岡地域の医師を想定しているが、人数も少なくまだ不透明。県でも研修を受けた医師がそのチームに当たることができるのか、検討しているとの情報がある。まだ体制もはっきりしない。

大隅委員：認知症初期集中支援チームについては、大都会を想定したものなので、実際町単位で本当に必要なものなのか、様子を見てからやっていけばよいものなのかどうか検討していく必要がある。

P33：生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置とあるが、いろいろな団体を入れてほしい。また人材の確保が難しいと思われる。実際介護施設での職員の高齢化や、逆に新規開設する施設では人材がいなくて困っているところもある。若い人が町に残ってくれて働いてくれるといい。

佐藤課長：若い人材確保という点から、地元高校生への支援として、ヘルパー資格についての補助を出している町（白鷹町）もあると聞いている。地元高校の存続についても議論となっているが、今後の取り組みとして参考になるかもしれない。

(3) 庄内町障がい者計画（第2期改訂）・障がい福祉計画（第4期）について

齋藤主査より説明（資料3）

表紙の訂正：庄内町障がい者計画（第2期改定）→（第2期改訂）

【質疑等】

富樫委員：2年前にも会議に参加したが、計画はほとんど変わっていない。きちんと何かが変わっているなら納得はできるが。たんぼぼの会でも福祉係で親たちの悩みや意見を聞いていったはず。係で具体的に検討してほしい。また、障害別にも問題が違ったりするので、障害別に取り組んでほしい。今年度保健サイドで障がい児親の会「なないろの会」を立ち上げてくれたことは嬉しかったので、目にみえる施策をぜひ考えてほしい。

齋藤係長：今回の計画は国の指針に合わせて数字を載せている。国の計画によらないものでも、町として考えていく姿勢はある。

富樫委員：不足している事業所としてグループホームがある。障害者が一人で暮らすことは困難なケースも多い。国は入所（施設）から地域に移行したい考えのようだが、無理がある。町でも必要なものを認知して考えてほしい。

齋藤係長：すべてが地域で受け入れられるわけでもないもので、施設と地域でのすみわけについては今後も検討していく。

小林委員：障害者がイベントに参加してくれている。当事者から声をかけてもらい実現しているが、町からはあまり上がってこない。町でも団体と相談しながら参加できる環境を調整していくことが必要ではないか。子どもたちの地域でのつながりを大事に。横の連絡しっかりと。

太田委員：課題は山積している。計画作り大変と思うが、県にも遠慮なく連絡いただき相談してほしい。

佐藤課長：他に意見あれば連絡してほしい。

(4) その他

特になし

4 その他

○今後のスケジュールについて

1/26（月）答申

1/22（木）第3回庄内町保健医療福祉推進委員会を開催予定。最終案を提示。

その後パブリックコメントを予定。

5 閉会